

教職関連科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
国語科教育論Ⅰ	国語科教育論Ⅰ	4	挽地 裕之	通年 水曜日 2 講時	
国語科教育論Ⅱ	国語科教育論Ⅱ	4	小川 典昭	通年 水曜日 1 講時	
英語科教育論Ⅰ	外国語教育や第二学習動機づけの基 本・基礎	4	エイドリアン	通年 月曜日 4 講時	
英語科教育論Ⅱ	外国語教育の理論と実践	4	エイドリアン	通年 月曜日 3 講時	
ドイツ語科教育法Ⅱ	ドイツ語教育法	2	嶋崎 啓	前期 水曜日 1 講時	
フランス語科教育法Ⅰ	Langue et culture de la France contemporaine	2	メヴェル ヤン	前期 月曜日 2 講時	
フランス語科教育法Ⅱ	Langue et culture de la France contemporaine	2	メヴェル ヤン	後期 月曜日 2 講時	
地理歴史科教育法Ⅰ	高等学校の地理授業の設計と実践	2	浅川 俊夫	前期 水曜日 2 講時	
地理歴史科教育法Ⅱ	高等学校の歴史授業の設計と実践	2	片岡 実	前期 月曜日 1 講時	
宗教科教育法Ⅰ	宗教教育	2	高橋原	前期 金曜日 1 講時	
宗教科教育法Ⅱ	宗教教育の問題点	2	高橋原	後期 金曜日 1 講時	

科目名：国語科教育論 I / Teaching Theory of the Japanese Language I

曜日・講時：通年 水曜日 2 講時

セメスター：通年 単位数：4

担当教員：挽地 裕之

コード：LB93201 科目ナンバリング：LHM-EDU901J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：国語科教育論 I

2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of the Japanese Language I

3. 授業の目的と概要：国語科教育を支える理論や学習指導要領の目標・内容を理解するとともに、国語の授業づくりに必要とされる基本的技能を身につける。国語科教育の意義や目的を踏まえつつ、国語科の課題や学習指導要領の目標や内容を理解する。その上で指導方法を身につける。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：国語科教育を支える理論や学習指導要領の目標・内容を理解するとともに、国語の授業づくりに必要とされる基本的技能を身につける。国語科教育の意義や目的を踏まえつつ、国語科の課題や学習指導要領の目標や内容を理解する。その上で指導方法を身につける。

5. 学習の到達目標：

国語科教育の意義や目的・内容を理解するとともに、基本的かつ具体的な指導方法を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：国語科教育の意義や目的・内容を理解するとともに、基本的かつ具体的な指導方法を身につける。

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 国語教育と国語科教育 国語科教育の周辺—国語科とは—
- 2 国語科教育以前① 授業 I 体験的教育論 —自分の受けた授業—
- 3 国語科教育以前② 授業 II 林竹二の授業
- 4 国語科教育以前③ 学び 学びの背景 —消費行動の影響力—
- 5 国語科教育の今日的課題① 学力調査等に見られる問題点と課題
- 6 国語科教育の今日的課題② 高度情報化等への対応
- 7 ことばの特徴や使い方について① 主に気になることば等を中心にして
- 8 ことばの特徴や使い方について② 主に我が国の言語文化を中心にして
- 9 学習指導要領の改訂の背景と改訂 改訂の背景と趣旨及び要点(現行との比較)
- 10 教材研究①分野別 文学的文章を中心に
- 11 教材研究②分野別 説明的文章を中心に
- 12 国語の技能①話すこと・聞くこと 基本的な考え方
- 13 国語の技能①書くこと 基本的な考え方
- 14 国語の技能①読むこと 基本的な考え方
- 15 学習指導要領の目標と内容① 初等教育を中心に

8. 成績評価方法：

出席及び平常点(2点×30回=60)、レポート(10点×2回[前期・後期]=20)、その他(20%)①出席及び平常点(2点×30回=60)…対面講義でないため感想レポートの提出(送信)によって出席とします。提出期限を厳守するようにしてください。期日を過ぎて提出の場合、持点の2点から減点処理することになります。

②レポート(10点×2回[前期・後期]=20)…前期と後期に2回のレポート提出を課します。様式等は後日指示します。

9. 教科書および参考書：『中学校学習指導要領解説国語編』(文部科学省刊※最新刊)

『高等学校学習指導要領解説国語編』(文部科学省刊※最新刊)

『新たな時代の学びを創る中学校高等学校国語科教育研究』(全国大学国語教育学会編)

10. 授業時間外学習：テキストや紹介された書籍を活用するなどして国語科教育の内容等について調べまとめる。紹介された書籍を積極的に読む等することが望ましい。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicates the practical business

12. その他：メールアドレス(職場) hikichi-hi568@td.myswan.ed.jp メールアドレス(個人)

hikichi101111@yahoo.co.jp

科目名：国語科教育論Ⅱ／ Teaching Theory of the Japanese Language II

曜日・講時：通年 水曜日 1 講時

Semester：通年 単位数：4

担当教員：小川 典昭

コード：LB93101 科目ナンバリング：LHM-EDU902J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：国語科教育論Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of the Japanese Language II

3. 授業の目的と概要：中学校や高等学校の国語科における授業づくりの実践的な技能を身につける。

国語の授業づくりの特質を踏まえて、教材研究や発問づくり、指導案の作成、模擬授業等を実践的に行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：中学校や高等学校の国語科における授業づくりの実践的な技能を身につける。

国語の授業づくりの特質を踏まえて、教材研究や発問づくり、指導案の作成、模擬授業等を実践的に行う。

5. 学習の到達目標：

国語科における指導案の作成や学習指導・評価等の知識や技能を身につけ、教壇実習ができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：国語科における指導案の作成や学習指導・評価等の知識や技能を身につけ、教壇実習ができる。

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

第1回：教師の魅力～国語科が育む生きる力～

第2回：国語の授業づくりの特質について①（なぜ日本語を学ぶのか？なぜ教えるのか？）

第3回：国語の授業づくりの特質について②（小中高国語教室の実践から）

第4回：国語の授業づくりの特質について③（児童生徒の心に響く授業から）

第5回：国語の授業づくりの特質について④（国語科教育の特質をまとめる）

第6回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて①（読むことに関する高校教材を中心に）

第7回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて②（読むことに関する中学校教材を中心に）

第8回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて③（話すこと・聞くことに関する教材を中心に）

第9回：教材研究の方法と発問・課題づくりについて④（書くことに関する教材を中心に）

第10回：国語科が目指す「主体的・対話的で深い学び」①（学習形態の機能と授業設計－読む書く聞く）

第11回：国語科が目指す「主体的・対話的で深い学び」②（学習形態の機能と授業設計－机間指導と発問）

第12回：国語科が目指す「主体的・対話的で深い学び」③（学習形態の機能と授業設計－ペア学習の効果）

第13回：発展的な内容や課題に係る授業づくりについて①（韻文指導）

第14回：発展的な内容や課題に係る授業づくりについて②（情報機器の活用）

第15回：発展的な内容や課題に係る授業づくりについて③（弁論指導）

第16回：発展的な内容や課題に係る授業づくりについて④（古典指導）

第17回：学習指導案の構成について

第18回：授業設計と学習指導案の作成について①（論説・評論文教材を中心に）

第19回：授業設計と学習指導案の作成について②（小説教材を中心に）

第20回：模擬授業の実施①（Aグループ）

第21回：模擬授業の実施②（Bグループ）

第22回：模擬授業の実施③（Cグループ）

第23回：模擬授業の実施④（Dグループ）

第24回：模擬授業の実施⑤（Eグループ）

第25回：模擬授業の実施⑥（Fグループ）

第26回：模擬授業の振り返りと授業改善について①（自己評価を中心に）

第27回：模擬授業の振り返りと授業改善について②（相互評価を中心に）

第28回：学習評価の実際と課題について①（教育評価の基礎・基本）

第29回：学習評価の実際と課題について②（評価の実際）

第30回：国語科の実践研究の動向と課題について

8. 成績評価方法：

平常点（50%）・模擬授業（30%）・レポート（20%）

9. 教科書および参考書：『中学校学習指導要領解説国語編』（文部科学省刊）※最新刊

『高等学校学習指導要領解説国語編』（文部科学省刊）※最新刊

10. 授業時間外学習：説明・評論文や小説等の教材研究、学習指導案づくりなどを各自事前に行う。

11. 実務・実践的授業/Practical business：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：ogawa-no042@td.myswan.ed.jp

科目名：英語科教育論 I / Teaching Theory of English I

曜日・講時：通年 月曜日 4 講時

セメスター：通年 単位数：4

担当教員：エイドリアン

コード：LB91401 科目ナンバリング：LHM-EDU903J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：外国語教育や第二学習動機づけの基本・基礎
2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of English I
3. 授業の目的と概要：1) 外国語教育の基本・基礎について理解を深める。
2) 外国語学習動機づけの基本について理解を深める。
3) 英語科授業の模擬授業や英語教育についてのディスカッションを行う。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：1) Deepening understanding of foreign language pedagogy
2) Deepening understanding of foreign language learning motivation
3) Participating in microteaching and discussions related to foreign language education
5. 学習の到達目標：
1) 英語科教育の基本理念、目標、学習内容、指導方法、評価等を理解し、説明できる。
2) 外国語学習動機づけに関する話題や課題についてディスカッションができる。
3) 模擬授業を通して、基本的な指導技術を身につける。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：1) Having a basic command of foreign language pedagogy (theories and practice)
2) Having a basic command of foreign language learning motivation
3) Be confident participating in microteaching and discussions related to foreign language education
7. 授業の内容・方法と進度予定：
この科目では Google Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。
外国語教育理論や外国語学習動機づけ理論について学び、模擬授業や様々な問題に関するディスカッションを行う。

前期

- Week 1 外国語教育の基本、模擬授業のやり方や評価
- Week 2 Background to teaching English as a Foreign Language
- Week 3 A general approach to teaching English
- Week 4 Presenting new language items
- Week 5 Organizing language practice
- Week 6 Handling vocabulary
- Week 7 Developing spoken communication skills
- Week 8 Developing written communication skills
- Week 9 Review and remedial work
- Week 10 Planning and managing classes
- Week 11 Working with a course book
- Week 12 Teaching aids and materials
- Week 13 Testing and evaluation
- Week 14 Development in teaching English
- Week 15 Review

後期

- Week 1 Course Review. Background to motivation
- Week 2 The growth and fixed mindsets
- Week 3 What can we learn from the growth mindset in sports?
- Week 4 Parents, teachers, and coaches: Where do mindsets come from?
- Week 5 Mindsets in second language acquisition
- Week 6 Choosing words, choosing worlds
- Week 7 Learning Worlds: People, performing, and learning
- Week 8 Changing learning narratives
- Week 9 "Good Job!" Feedback, praise, and other responses
- Week 10 Any other ways to think about that? Inquiry, dialogue, uncertainty, and difference
- Week 11 Social imagination
- Week 12 Moral agency: Moral development and civic engagement
- Week 13 Thinking together, working together
- Week 14 Choice worlds
- Week 15 Review

8. 成績評価方法：

①小テスト (30%)、②ディスカッション参加 (20%)、③模擬授業 (20%)、④最終テスト 30%

9. 教科書および参考書： 前期

教科書

Davies, P. (2000). Success in English Teaching. ISBN-13: 978-0194421713

後期

教科書

Johnston, P. (2012). Opening Minds: Using Language to Change Lives. ISBN-13: 978-1571108166

参考書

Dweck, C. (2017). Mindset - Updated Edition: Changing The Way You think To Fulfil Your Potential. ISBN-13: 978-1472139955

10. 授業時間外学習：教科書を読んで、ディスカッションの準備や理解できるところとそうでないところを明確にした上で、授業に臨むこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：英語科教育論 I は英語と日本語の両方で行われる。

科目名：英語科教育論Ⅱ／ Teaching Theory of English II

曜日・講時：通年 月曜日 3講時

Semester：通年 単位数：4

担当教員：エイドリアン

コード：LB91301 科目ナンバリング：LHM-EDU904J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：外国語教育の理論と実践
2. Course Title (授業題目)：Teaching Theory of English II
3. 授業の目的と概要：1) 英語科教育の基本理念、目標、学習内容、指導方法、評価等に関する理解を深める。
2) 英語科授業の模擬授業を行う。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：1) Deeping understanding of theories and practice of foreign language pedagogy
2) Conducting lessons in microteaching
5. 学習の到達目標：
 - ・英語科教育の目標、学習内容、指導方法、評価等を理解し、説明できる。
 - ・模擬授業を通して、基本的な指導技術を身につける。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：1) Having a strong understanding of theories and practice of foreign language pedagogy
2) Able to conduct and comment on lessons in microteaching
7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。
外国語教育理論について学び、模擬授業や様々な問題に関するディスカッションを行う。

Week 1 コースの説明や学習指導要領
Week 2 外国語教育の基本、模擬授業のやり方や評価
Week 3 Chapter 1 - Getting Started
Week 4 Chapter 2 - A Century of Language Teaching
Week 5 Chapter 3 - Contextualizing Communicative Approaches
Week 6 Chapter 4 - Teaching by Principles
Week 7 Chapter 5 - Agency in Language Learning
Week 8 復習 - Chapters 1-5
Week 9 Chapter 6 - Teaching Across Age Levels
Week 10 Chapter 7 - Teaching Across Proficiency Levels
Week 11 Chapter 8 - Cultural and Sociopolitical Contexts
Week 12 復習 - Chapters 6-8
Week 13 Chapter 9 - Curriculum and Course Design
Week 14 Chapter 10 - Lesson Planning
Week 15 Chapter 11 - Techniques, Textbooks, and Materials
Week 16 Chapter 12 - Technology in Language Learning and Teaching
Week 17 Chapter 13 - Creating an Interactive Classroom
Week 18 Chapter 14 - Classroom Management
Week 19 復習 - Chapters 9-14
Week 20 Chapter 15 - Teaching Listening
Week 21 Chapter 16 - Teaching Speaking
Week 22 Chapter 17 - Teaching Reading
Week 23 Chapter 18 - Teaching Writing
Week 24 Chapter 19 - Teaching Grammar and Vocabulary
Week 25 復習 - Chapters 15-19
Week 26 Chapter 20 - Language Assessment: Principles and Issues
Week 27 Chapter 21 - Classroom-Based Assessment
Week 28 Chapter 22 - Teacher Development
Week 29 Chapter 23 - Teachers for Social Responsibility
Week 30 復習 - Chapters 20-23
8. 成績評価方法：
 - ①小テスト (40%)、②ディスカッション参加 (20%)、③模擬授業 (40%)
9. 教科書および参考書：Brown, H. D., & Lee, H. (2015). Teaching by principles: An interactive approach to language pedagogy (4th ed.). White Plains, NY: Longman.
10. 授業時間外学習：各チャプターに関するビデオを見ながら教科書を読んで、ディスカッションの準備や理解できるところとそうでないところを明確にした上で、授業に臨むこと

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness : ○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他：英語科教育論 II は英語と日本語の両方で行われる。

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業/Practical business

科目名：ドイツ語科教育法Ⅱ／ Teaching Method of German Studies II

曜日・講時：前期 水曜日 1 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB53103 科目ナンバリング：LHM-EDU906J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語教育法
2. Course Title (授業題目)：Teaching Method of German Language
3. 授業の目的と概要：初歩のドイツ語学習の教材について考える。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In diesem Unterricht handelt es sich um die Lehrmittel, die Lehrmittel für die Anfänger des Deutschlernens wirksam sind.
5. 学習の到達目標：
初歩のドイツ語学習にとってどのような教材が適切であるかを知る。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Ziel des Unterrichts ist, dass man versteht, welche Lehrmittel für die Anfänger des Deutschlernens wirksam sind.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1 ガイダンス
 - 2 教材研究(1)
 - 3 教材研究(2)
 - 4 教材研究(3)
 - 5 教材研究(4)
 - 6 教材研究(5)
 - 7 教材研究(6)
 - 8 教材研究(7)
 - 9 教材研究(8)
 - 10 教材研究(9)
 - 11 教材研究(10)
 - 12 教材研究(11)
 - 13 教材研究(12)
 - 14 教材研究(13)
 - 15 教材研究(14)
8. 成績評価方法：
平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]
9. 教科書および参考書： 具体的な事項の配置や例文の作成が求められる。
10. 授業時間外学習： 毎回教材についての課題が出されるので、次回までにそれを準備しなければならない。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
12. その他：授業の形態(対面かオンラインか)はClassroomで指示する予定。

科目名：フランス語科教育法 I / Teaching Method of French Studies I

曜日・講時：前期 月曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：メヴェル ヤン

コード：LB51203 科目ナンバリング：LHM-EDU909J 使用言語：英語以外の外国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Langue et culture de la France contemporaine
2. Course Title (授業題目)：Langue et culture de la France contemporaine
3. 授業の目的と概要：Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :
 - la lecture de divers types de textes
 - une réflexion sur des sujets de société
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :
 - la lecture de divers types de textes
 - une réflexion sur des sujets de société
5. 学習の到達目標：
Le cours permettra :
 - d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
 - d'augmenter les capacités d'argumentation
 - d'améliorer les capacités de compréhension
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Le cours permettra :
 - d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
 - d'augmenter les capacités d'argumentation
 - d'améliorer les capacités de compréhension
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) Introduction
 - 2) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 3) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 4) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 5) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 6) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 7) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 8) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 9) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 10) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 11) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 12) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 13) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 14) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 15) Activités d'analyse de l'écrit et d'expression
 - 16) Synthèse du cours
8. 成績評価方法：

Une participation à tous les cours est nécessaire. L'évaluation, régulière, demandera la rédaction de textes brefs.
9. 教科書および参考書： Les documents nécessaires seront fournis aux étudiants.
10. 授業時間外学習：Des exercices permettront de revoir du vocabulaire ou des points de grammaire. Il faudra aussi rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :
 - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
12. その他：

科目名：フランス語科教育法Ⅱ／ Teaching Method of French Studies II

曜日・講時：後期 月曜日 2講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：メヴェル ヤン

コード：LB61204 科目ナンバリング：LHM-EDU910J 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Langue et culture de la France contemporaine
2. Course Title (授業題目)：Langue et culture de la France contemporaine
3. 授業の目的と概要：Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :
 - la lecture de divers types de textes
 - l'audition de documents sonores
 - une analyse de documents visuels
 - des discussions sur des sujets de société
 - des jeux de rôles
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Le cours prendra plusieurs formes. Il permettra :
 - la lecture de divers types de textes
 - l'audition de documents sonores
 - une analyse de documents visuels
 - des discussions sur des sujets de société
 - des jeux de rôles
5. 学習の到達目標：

A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :

 - d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
 - d'augmenter les capacités d'argumentation
 - d'améliorer les capacités de compréhension

Le cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en France, ses codes et usages.
6. Learning Goals (学修の到達目標)：A l'oral comme à l'écrit, le cours permettra :
 - d'enrichir le vocabulaire et de consolider la syntaxe
 - d'augmenter les capacités d'argumentation
 - d'améliorer les capacités de compréhension

Le cours aidera aussi à découvrir la vie quotidienne en France, ses codes et usages.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1) Introduction
 - 2) Expression française orale et écrite
 - 3) Expression française orale et écrite
 - 4) Expression française orale et écrite
 - 5) Expression française orale et écrite
 - 6) Expression française orale et écrite
 - 7) Expression française orale et écrite
 - 8) Expression française orale et écrite
 - 9) Expression française orale et écrite
 - 10) Expression française orale et écrite
 - 11) Expression française orale et écrite
 - 12) Expression française orale et écrite
 - 13) Expression française orale et écrite
 - 14) Expression française orale et écrite
 - 15) Expression française orale et écrite
 - 16) Projection de film. Analyse et discussion
8. 成績評価方法：

Une participation à tous les cours est nécessaire. La participation à l'oral compte pour 50 %. L'évaluation sera aussi écrite (rédaction de plusieurs textes brefs).
9. 教科書および参考書： Le manuel sera choisi en fonction du niveau des étudiants présents.
10. 授業時間外学習：Des exercices permettront de revoir du vocabulaire ou des points de grammaire. Il faudra aussi rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
12. その他：

科目名：地理歴史科教育法 I / Teaching Method of Geography and History Studies I

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：浅川 俊夫

コード：LB53205 科目ナンバリング：LHM-EDU913J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：高等学校の地理授業の設計と実践
2. Course Title (授業題目)：Class study about the geography field of studies of geography and history in high school
3. 授業の目的と概要：高等学校学習指導要領における地理科目の指導内容のポイントとその具体的展開や教材の取扱いを学び、学習指導案を作成して模擬授業を行える実践的な指導力を育成する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Learn the points of the teaching contents of geography subjects in National curriculum for high schools, their specific development, and the handling of teaching materials. Base on that, develop practical teaching ability to create a class plan and do a trial lesson.
5. 学習の到達目標：
 - ①高校学習指導要領地理科目の変遷を理解し、その概要を述べるができる。
 - ②地理科目について、目標と指導内容、指導の具体的展開、教材の取扱いのポイントを理解し、授業づくりを進めることができる。
 - ③上記を踏まえて、学習指導案を作成することができる。
 - ④学習指導案に基づき、授業を行うことができる。
 - ⑤模擬授業の評価をもとに、授業改善について考えることができる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：① You can understand the transition of geography subjects in National curriculum for high schools . And give the overview.
② About geography subjects of high school, you can understand the points of objectives and contents of instruction, the specific development of instruction, and handling teaching materials. And be able to make lessons.
③ Based on the above, you can create a learning guidance plan.
④ You can give a lesson based on the learning guidance plan.
⑤ You can improve lessons in consideration of the evaluation of the trial lesson.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第1回：オリエンテーション、高校学習指導要領「社会科・地理歴史科」地理科目の変遷に関する講義（1）
 - 第2回：高校学習指導要領「社会科・地理歴史科」地理科目の変遷に関する講義（2）
 - 第3回：現行学習指導要領地理科目の目標や内容、内容の取り扱いの要点に関する講義
 - 第4回：現行教育課程地理科目と次期教育課程地理科目との比較に関する講義
 - 第5回：次期教育課程地理科目と中学校社会地理的分野との関連に関する講義
 - 第6回：学習指導案の役割と基本的内容に関する講義・演習（1）－役割と構成
 - 第7回：学習指導案の役割と基本的内容に関する講義・演習（2）－目標と評価
 - 第8回：学習指導案の役割と基本的内容に関する講義・演習（3）－展開
 - 第9回：地理教材の作成に関する講義・演習（1）－ICT教材
 - 第10回：地理教材の作成に関する講義・演習（2）－シミュレーション教材
 - 第11回：地理教材の作成に関する講義・演習（3）－フィールドワーク教材
 - 第12回：全体またはグループ単位での模擬授業実施とルーブリックによる相互評価（1）
 - 第13回：全体またはグループ単位での模擬授業実施とルーブリックによる相互評価（2）
 - 第14回：全体またはグループ単位での模擬授業実施とルーブリックによる相互評価（3）
 - 第15回：模擬授業の振り返り、相互評価結果を基にした授業改善レポート作成
8. 成績評価方法：

学習指導要領における地理科目の変遷や現行・次期教育課程の地理科目に関する確認テスト（20%）、学習指導案及びそれに基づく模擬授業（40%）、課題の取組状況・授業への参加態度等（40%）
9. 教科書および参考書：教科書：文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 地理歴史編』
帝国書院『新詳 地理 B』（高校での地理 B 未履修者。履修者は高校で使用した「地理 B」教科書の流用可）
東京書籍『新高等地図』（高校で使用した「地図帳」の流用可）
参考書：明治図書『高校社会 「地理総合」の授業を創る』
明治図書『本当は地理が苦手の先生のための 中学社会 地理的分野の授業デザイン&実践モデル』
10. 授業時間外学習：課題レポートへの取組、学習指導案の作成、模擬授業に向けた教材研究などを行う。
11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business
12. その他：

科目名：地理歴史科教育法Ⅱ／ Teaching Method of Geography and History Studies II

曜日・講時：前期 月曜日 1 講時

Semester : 5 単位数 : 2

担当教員：片岡 実

コード：LB51101 科目ナンバリング：LHM-EDU914J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：高等学校の歴史授業の設計と実践
2. Course Title (授業題目) : Class study about the history field of studies of geography and history in high school
3. 授業の目的と概要：高等学校の地理歴史科の歴史科目の目標を理解し、その内容を歴史学の成果と関連させて深めるとともに、授業実践のための基礎理論を学んで授業設計を行い、模擬授業を実施する。
本授業では、歴史科目の目標や内容など学習指導要領の基本的内容を学び、歴史学の成果も踏まえて教材研究や学習指導案作成の質を高める。学習指導案の作成に当たっては、情報機器及び教材の効果的な活用を図る。その上で班単位の模擬授業を行い、その振り返りを通して授業改善を試みる。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : Students will understand the goals of the history subjects of studies of geography and history in high school, deepen the contents in relation to the results of history studies, learn the basic theories for class practice, design lessons, and carry out mock lessons.
In this class, students will learn the basic contents of the course of study, such as the goals and contents of history subjects, and improve the quality of teaching material research and the creation of lesson plans based on the results of history studies. In creating lesson plans, they will make effective use of information equipment and teaching materials. After that, they will be required to give a mock lesson for each group and try to improve the lesson by looking back.
5. 学習の到達目標：
 - ① 各歴史科目の目標や内容並びに全体構造を理解している。
 - ② 教材研究の仕方や学習指導案の作成などの基礎的な学習指導理論を理解している。
 - ③ 模擬授業を通して授業構成力や実践力を高め、授業改善の視点を身に付けている。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : 1) Students will learn the goals and contents of each history subject and the overall structure.
2) Students will learn basic learning instruction theory such as how to study teaching materials and create lesson plans.
3) Mock lessons help improve students' ability to structure and conduct lessons and help them acquire perspectives on lesson improvement.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第1回：授業に関するガイダンスと新学習指導要領の要点
 - 第2回：歴史総合の目標と内容及び評価
 - 第3回：世界史探究の目標と内容及び評価
 - 第4回：日本史探究の目標と内容及び評価
 - 第5回：「指導上の配慮事項」と情報機器、教材の活用法
 - 第6回：授業設計と教材研究（研究授業のVTR視聴）
 - 第7回：学習指導案の書き方と評価
 - 第8回：学習指導案の作成と情報機器、教材の活用法（世界史探究）（演習）
 - 第9回：学習指導案の作成と情報機器、教材の活用法（日本史探究）（演習）
 - 第10回：学習指導案の作成と情報機器、教材の活用法（歴史総合）（演習）
 - 第11回：模擬授業（世界史探究）と討議、講評（演習）
 - 第12回：模擬授業（日本史探究）と討議、講評（演習）
 - 第13回：模擬授業（歴史総合①）と討議、講評（演習）
 - 第14回：模擬授業（歴史総合②）と討議、講評（演習）
 - 第15回：歴史科目の実践研究の動向
8. 成績評価方法：
模擬授業の評価（40%）、学習指導案の評価（30%）、授業で課される小レポート（20%）、授業中の発言や態度（10%）
9. 教科書および参考書： 文部科学省『学習指導要領解説地理歴史編』（最新版）
授業中に適宜資料を配付する。
10. 授業時間外学習：授業時間外に学習指導案の作成、模擬授業づくりの準備を行う。
 11. 実務・実践的授業/Practical business : ○
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
 12. その他：

科目名：宗教科教育法 I / Teaching Method of Religions Studies I

曜日・講時：前期 金曜日 1 講時

semester：5 単位数：2

担当教員：高橋原

コード：LB35102 科目ナンバリング：LHM-EDU915J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教教育

2. Course Title (授業題目)：Teaching Religion in classroom

3. 授業の目的と概要：中学生高校生に宗教を教えるための基礎知識と方法を身に付ける。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Each student learns basic knowledge and method in teaching religion in classroom.

5. 学習の到達目標：

世界の諸宗教についての基礎知識を分かりやすく説明できるようにする。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students develop an ability to give a plain explanation of world religions in classroom.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

受講者が教員志望であることを前提とするが、個々の必要に応じて扱う教材や進め方を検討して進める。

(1) イントロダクション

(2) 日本の宗教 1

(3) 日本の宗教 2

(4) 日本の宗教 3

(5) 日本の宗教 4

(6) 日本の宗教 5

(7) 世界の宗教 1

(8) 世界の宗教 2

(9) 世界の宗教 3

(10) 世界の宗教 4

(11) 世界の宗教 5

(12) 世界の宗教 6

(13) 現代の宗教 1

(14) 現代の宗教 2

(15) まとめ

8. 成績評価方法：

期末レポートによる。

9. 教科書および参考書：『解きながら学ぶ日本と世界の宗教文化』集広舎 2019

10. 授業時間外学習：授業内で指示する。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：教科書購入必須

科目名：宗教科教育法Ⅱ／ Teaching Method of Religions Studies II

曜日・講時：後期 金曜日 1 講時

semester：6 単位数：2

担当教員：高橋原

コード：LB45103 科目ナンバリング：LHM-EDU916J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教教育の問題点
2. Course Title (授業題目)：Issues in teaching religion in the classroom
3. 授業の目的と概要：中学生高校生に宗教を教える際の問題点を学ぶ。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Each student learns basic issues in teaching religion in the classroom.
5. 学習の到達目標：
世界の諸宗教について教える際の問題点を分かりやすく説明できるようにする。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students develop an ability to give a plain explanation of issues in teaching world religions in classroom.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
 - (1) イントロダクション
 - (2) 日本の宗教 1
 - (3) 日本の宗教 2
 - (4) 日本の宗教 3
 - (5) 日本の宗教 4
 - (6) 日本の宗教 5
 - (7) 世界の宗教 1
 - (8) 世界の宗教 2
 - (9) 世界の宗教 3
 - (10) 世界の宗教 4
 - (11) 世界の宗教 5
 - (12) 世界の宗教 6
 - (13) 現代の宗教 1
 - (14) 現代の宗教 2
 - (15) まとめ
8. 成績評価方法：
期末レポートによる。
9. 教科書および参考書： Religion in the Classroom: Dilemmas for Democratic Education
by Jennifer Hauver James , Simone Schweber , et al. Routledge; 1st edition (December 22, 2014)
10. 授業時間外学習：授業内で指示する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
12. その他：